



## 三月の幼稚園

堀 合 文 子

### 三月の保育

幼稚園……堀合文子  
 保育所……鈴木とく

三月はあわただしい。寒い冬から少しづつ、解放され、しのびよる

春の訪れに、よろこびをいだと同時に、学校としての暮の忙しさであります。年少では年長になろうという喜び。年長は小学校へのよろこびで一杯です。このようで何か落着かぬ月ですが、充分に年長の人には幼稚園生活の最後をたのしませてあげたいものです。そして将来を祝福して送り出してあげましょう。

主 題	年 少 組	年 長 組
	<p>○ひなまつり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二月の終りから一生けんめい作っていた。</li> <li>・おひなさまを飾る。</li> <li>・おひな様にあげる御馳走もつくる。</li> <li>・おひなさまのうたをうたう。</li> <li>・おひなさまのゆうぎをする。</li> </ul>	<p>○ひなまつり○</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年少の時のように二月の終り頃より準備にかゝり出来た自分達のおひなさまを自分達で飾る。</li> <li>・町のおひなさまをみにゆく。</li> <li>・昔のおひなさまをしる。</li> <li>・おひなさまのリズム遊びをする。</li> </ul>

・皆で三日の日はゆうぎ会等してたのしく遊ぶ。

### ○花やさん

- ・近くのお花やさんをみにゆく。
- ・お店の相談をする。
- ・お花をつくる。
- ・その他花やさんでうつつているもの、種子、シャベル、じようろ等つくる。
- ・花籠をつくる。
- ・お店にならべる。
- ・お友達（卒業する大きい組の方、入園してくる小さい方）にあげるのを別にしておく。
- ・開店（売買ごっこして遊ぶ）

## 製作

### ○おひなさま作り

- ・二月のつどきでおひなさまを作る。
- ・粘土のおひなさまには色つけをする。
- ・おひなさまの御道具もつくる。

お畫かき

〔二月にくわしくかきました〕

・おひなさまのお話を聞く。

・あとは年少と同じ。

### ○幼稚園

・もうすぐで卒業なのでこの週は幼稚園で遊んだ事、幼稚園でのいろくの事等をはなしあつたり、思出したりすると同時に、あとわずかの幼稚園生活をたのしくさせ、思う存分に生活させてあげる。そして沢山のたのしい思出をもつて卒業出来る様環境を与えてあげる。

・入園当時からのお話合。

・幼稚園でおもしろかつた事、いやだつた事等種々思出を話合う。

### ○卒業

- ・前の主題に引つゞき卒業の準備をすると同時に小学校へ行つたら等の話合いをしてたのしみにまつ。
- ・卒業のアルバムを作る手伝をする。
- ・卒業式のおけいこをする。

### ○おひなさま作り

・二月に記したが、年長ではおひなさまだけ先生の指導で作り、あとは自分達にどんなものが必要か考えさせて、自分達でつくらせたい。

〔屏風ぼんぼり等〕

○花やさんのお花作り

・お花は比較的仕事としてはむずかしいから、よく指導する必要がある。ある程度大人の手が必要だがあまり大人がつくつたようになつてしまうのもおもしろみがないからその点よく注意する必要がある。

・花の種類は小さくてよいからなるべくお子さんの手でさせよう。

○植木鉢作り

○花籠作り

○シャベル作り

○種子袋作り

○花瓶作り

・空罐を利用したり廃物利用でよい。

○じよろバケツ作り

・これら出来たものは年長の卒業の時に贈物にしたり、四月まで延長して入園の方のお土産にあげるとよい。

お話

○花咲爺さん

○赤ずきん

○見えなくなつたお椅子

○アルバムのお画かき切紙

・自分達の二年間の写真をはるアルバムにお画かきも一番先にはつておきたい。えのぐ、クレヨン、切紙と将来の記念のためにかいてはる。

○めんどりと金の卵

○親指姫

○おひなさまの話

音 楽	リズム
<p>○おはる</p> <p>○おひなさま</p> <p>○花咲翁</p> <p>○おひなさまのリズム遊び</p> <p>・曲にあわせて内裏様お姫様になつてあるいたり、又三人官女五人ばやし<small>の形をして、おひなさまの行列をして歩いてても簡単でおもしろい。五人ばやしを簡易楽器に應用して五種類の楽器にわかれて楽隊あそびに發展してもよ</small>う。</p>	<p>○お猿のめがね</p> <p>○鉛の兵隊</p> <p>○幻燈</p> <p>・春の花</p> <p>・花咲翁</p> <p>○人形芝居</p> <p>(兔の洋服屋さん)</p>
<p>★</p> <p>○春よ来い</p> <p>○おひなさま</p> <p>○玩具のマーチ</p> <p>○おひな様のリズム遊び</p> <p>・年少では部分的なリズム遊びをしたが、年長では一つの筋を作つてそれをリズムにあてはめてやつてみよう。</p> <p>・女の子、男の子がおひなさまをかざるので内裏様、お姫様になる子供をつれて来てひなだんに飾る。その時おひな様やお人形やいろく各自好きなものになる。</p> <p>・かざれたら、女の子と男の子はかざつたおひな様をながめて、おゆうぎをする。その子供達が入つてしまうと、おひなさま達も一人一人曲によつてうごき出して、うれ</p>	<p>○幻燈</p> <p>・果実と種子</p> <p>・白雪姫</p> <p>○人形芝居</p> <p>(さんごの首輪)</p>

※ しくて、おどり出してしまふ。そこへ女の子、男の子がやつて来てびつくりするが一緒になつてうれしそうにおどつてひなまつりを過す。

・これは一つの例にすぎないが、この様に簡単な筋を作つて曲にあわせて自由に表現させたい。

○卒業式のうた

○音楽会

・もう幼稚園もすぐ卒業するので、卒業式間近い日をえらびお友達の親睦の意味もかねて、うたつたり、ゆうぎしたり等々してお互にお友達の思出をふかめる。皆で好きな歌をうたつたりして過したい。

○ならつた歌の思出

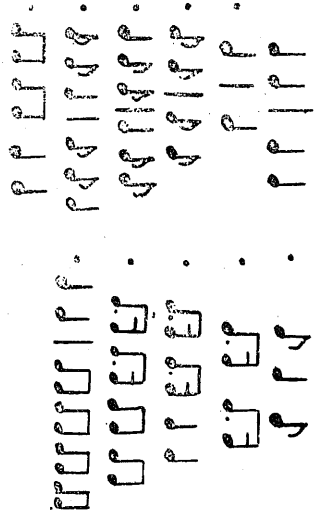
・幼稚園でならつた小さい組からの歌を順々にうたつてみたい。それについての種々の思出も話合いながら歌うとよ。

○楽隊といふ

・もう大体は種々の楽器が使えるから、変るがわる楽器を使つて今までならつた歌をやつてたのしみたい。

○リズムの記憶

・今までやつてきたリズム感のおけいこも一応一通りおさらいしてみ、正確に体に思出させたい。



○創作

・二年間でどうやら簡単なリズムは把握出来た。自由表現も曲にあわせて自分のおもうように出来るようになった。この二つの条件があれば幼稚園では創作まで手を出さなくともよいのだが、大きな創作でなく、自分達でもゆきが出来る事、曲にあわせて自由に表現する事の一つのまとまりをたのしませるために、新しい曲をあたえたり新しいうたの曲を与えたりしてつくらせてみたい。

・曲は簡単な短いものリズムの明瞭なもの。  
 ・二人で組んでやれるものを二人で相談させてやる。  
 ・出来たものは必ず皆がやつてみる。  
 以上の注意が必要だ。案外おもしろい動作もつき、二人で相談する所も又おもしろい。一人でやらせるより二人組の方が効果的。



観  
察

★

○おひなさま

・幼稚園に飾つたおひなさま、家庭に飾つたおひなさまを  
観察して話合う。おひなさまの名前や役目等を簡単に説  
明してきかせる。自分達もつくつて保育室にかざる。

○桃の花

・おひな様と同時にかわいらしい桃の花を保育室にかざり  
枝にすぐついている所、色の美しさ、形のかわいらしさ  
梅との比較等話合つてよく観察する。

○れんぎよ

・桃の花と一緒にさす花として花の形、色等観察する。

○種子まき

・春も近づいて来るので春夏になつて咲く花の種子まきを  
する。  
・暖かい日によつて子供達にも土を入れたり腐葉土を入れ  
たりする、手伝をさせる。

○水栽培の花

△

曲の例

・仲よし(ドミン ドミン ドドレレミミレ……)

○おひなさま

・年少と同じく幼稚園のおひなさまを皆でみながら話合う  
が、同時に絵本等でおひなさまの種類や昔のおひな様等  
もしらせておきたい。  
・他は年少の時と同じ

○桃の花

・年少と同じ。  
・お画かき、切紙しても一つの観察になる。

○れんぎよ

・年少と同じ。

○ねこやなぎ

・花のおもしろさ、色、形、感触等を観察させたい。

○水栽培の花

・年少と同じ。

○春分

・年少と同じ。

<p style="text-align: center;"><b>健康 習慣</b></p>	<p style="text-align: center;"><b>よき 習慣</b></p>
<p>○三月の身長、体重の測定</p> <p>○仕事する時は姿勢をよくしていたしましょう。</p>	<p>○暮、十一月頃より水栽培していたヒヤシンス、クロッカス、水仙等が花をつけはじめた。長い間根の出る事や出方等瓶でながめて来たので、このようにして美しい花が同じように咲く事を皆でみたい。</p> <p>○春分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これからだん／＼あたたかくなる事、御先祖のおまいりをする事を簡単に話しておく。</li> </ul> <p>○仕事をする時は道具箱等をきちんとおいて仕事致しましょう。</p> <p>○仕事のすんだ後は紙屑をみて必ずきれいに仕末いたしましょう。</p> <p>○下駄箱や引出しとりにゆく時等、前にお友達がいたらその方がすんでからいたしましょう。</p> <p>○自分の名前をよばれたときはいつでもどんな時でも大きい声でお返事致しましょう。</p>
<p>○三月の身長体重測定。</p> <p>○健康診断（内科、眼科、歯科）</p> <p>これは出来るならば小学校入学の前に一度健康診断して眼等わるい人は入学までに治療する等がのぞましいと思</p>	<p>○幼稚園（自分達の部屋、遊び室、庭）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業も近い日、話合いながら幼稚園というものをもう一度皆と観察して思出の一つに加える。</li> </ul> <p>○名前をよばれた時の返事は年少と同じ。</p> <p>○自分の言うべき時はぐず／＼しないではずきり返事やお話致しましょう。</p> <p>○下駄箱や引出し等の事も年少と同じ。</p> <p>○帳面等は、一枚一枚丁寧につかい、とばしたり、あちらこちらにかかないようにいたしましょう。</p> <p>○自分自分の引出しは自分で片づけましょう。</p> <p>○卒業式のおけいこ、話合つて約束する。</p>

## 三月の保育所

鈴木とく

ひな祭がすむと、何となく気忙しく、嬉しさと、侘しさとごちやぐくした感慨が往來する保育の日が続き、年度を省ての深い反省と新年度への計画を構成する暇もなく、ずるずると仕事が続いてしまふ月です。

三月の最後の週は、殊の他、保母と云う者にとつては、各自が各様の工夫で、一陽采福の新鮮さをとりもどさなければ、新しく、福祉にかける幼児を迎える、心の態勢が整わずに、疲労感のみで過ぎ

<p><b>行事</b></p> <p>○おひなまつり</p> <p>○春分</p> <p>○卒業式</p> <p>終業式</p>	<p style="text-align: right;">う。</p> <p>○身体検査書を家庭に</p> <p>幼稚園での発育をしらせるため今まで報告はしていたであろが書類として持たせたい。</p> <p>○年少に同じ。</p>
---	--

てしまう事でしょう。

三月の保育を、概略週でわけてみますと、ひな祭についての計画と保育実施は、二月の四週目にすべきで、三日は、そのおまつりの催だけすぎますから、三日以後の、第一週目の残りの日と、第二週は、

(1) 小学校に就学する幼児が、年下の幼児の為に残す、記念の製作  
(共同製作)の計画が立ちます。

(2) 幼児としての保育所生活の最後を楽しむ「集り」の計画をすめ、

(3) どの年齢のクラスも、夫々に、一年間の製作、その他、発達のあとをしのぶものを、美しく装る為に、幼児自身で、或は保母の手を借りて、仕上げを終わります。